

2021年2月8日

各位

会社名	株式会社Kips
代表者名	代表取締役 國本 行彦 (コード：9465、TOKYO PRO Market)
問合せ先	取締役 林 高史
T E L	03-4590-6605
U R L	http://www.kips.co.jp/

投資損失引当金戻入計上及び当社の子会社が保有する営業投資有価証券評価損の計上及び 営業外費用計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年12月期（2020年1月1日から2020年12月31日）の連結決算において、下記のとおり、投資損失引当金戻入の計上、当社の子会社が保有する営業投資有価証券の減額処理及び営業外費用を計上します。それに関連し、本日開催の取締役会において、2020年11月11日公表の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 投資損失引当金戻入の計上について

当社が保有している営業投資有価証券1銘柄につき、投資先の財政状況を勘案し、保守的に当社において投資損失引当金を計上しておりました。

2020年10月28日付け「当社の保有する投資先企業の株式売却及び投資損失引当金戻入の計上に関するお知らせ」で開示したとおり、当社の保有する営業投資有価証券の一部を売却したことから、残りの営業投資有価証券について、保有目的を投資有価証券に変更することとし、今まで計上しておりました投資損失引当金1,229千円の戻入を行うことといたしました。

2. 当社の子会社が保有する営業投資有価証券の減額処理について

当社子会社である The Independents Angel 投資事業有限責任組合（以下「子会社」という）が保有する営業投資有価証券1銘柄につき、将来の収益性に鑑み回収可能性を検討した結果、投資有価証券9,000千円の減額処理を実施する予定です。

なお、当該銘柄は、子会社において既に投資損失引当金8,507千円を計上しているため、今回の減額処理に伴い、新たに有価証券投資評価損492千円を子会社の売上原価として計上する見込みです。

3. 営業外費用の計上の理由

2020年12月期（2020年1月1日から2020年12月31日）における当社の借入金に対する支払利息3,786千円を計上するものです。

4. 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	133	△5	△8	1	0.45円
今回修正予想 (B)	133	△2	△5	3	0.91円
増減額 (B - A)	0	2	3	1	-
増減率 (%)	0.0	-	-	101.3	-
(参考) 前期連結実績 (2019年12月期)	91	△15	△15	64	16.13円

連結業績予想数値の修正の理由

連結売上高については、前回発表予想の連結売上高のとおり133百万円となる見込みです。利益面については、2020年12月期における業績を鑑みて役員賞与の支給を見送ることとしたものの、連結営業損失2百万円となる見込みです。連結経常利益については、主に連結営業損失となったことが影響し、連結経常損失5百万円となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、従前より申請しておりました持続化給付金及び家賃支援給付金が入金されたことにより3百万円を計上する見込みです。

以上